

デビュー50周年記念

加藤登紀子

Tokiko 50th ANNIVERSARY 終わりになき歌

渾身の力で歌い続けた半世紀
この感動は終わらない

〈予定曲目〉「さくらんぼの実る頃」「知床旅情」
「百万本のバラ」ほか

好評
発売中!

9月12日(土) 午後4時30分 開演 (午後4時開場)
武蔵野市民文化会館大ホール (中町3-9-11)

全席指定
一般 6000円
アルテ友の会 5400円

あのクリスタル・ボイス再び!

八神純子

コンサートツアー
Here I am 2015

NHK「SONGS」への出演をきっかけに八神純子、完全復活!!

エネルギーに満ちた歌声に、
生きる力が湧き上がってくる!

〈予定曲目〉「みずいろの雨」「ポーラスター」ほか

10月17日(土) 午後5時 開演 (午後4時30分開場)
武蔵野市民文化会館大ホール (中町3-9-11)

全席指定
一般 6000円
アルテ友の会 5400円

※両公演とも、電話・窓口予約の場合のみ、アルテ友の会に同時入会可能です(年会費1000円)

公益財団法人 武蔵野文化事業団

●チケットのお申し込み

☎0422-54-2011
または、インターネットで

●チケット取り扱い窓口

●武蔵野市民文化会館 ●武蔵野芸能劇場 ●武蔵野公会堂 ●武蔵野スイングホール
●吉祥寺シアター ●吉祥寺市政センター ●武蔵境市政センター ●中央市政センター

ホームページ <http://www.musashino-culture.or.jp>
ツイッター http://twitter.com/musashino_bunka
フェイスブック <http://www.facebook.com/MusashinoCulture>

お知らせ

武蔵野市民文化会館は、平成28年度に改修工事を実施するため、
平成28年4月1日から平成29年3月31日まで休館となります。 問い合わせ：市役所市民活動推進課 ☎0422-60-1831

永沢まこと都市画展

街の今を描く、ヒトを描く。

■会期 = 8月1日(土)~8月30日(日)

休館日 = 8月26日(水)



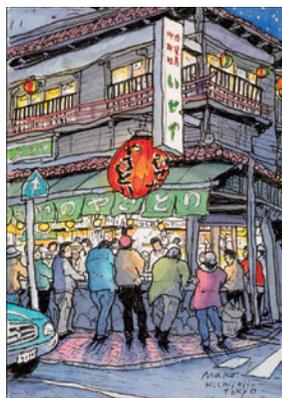
《吉祥寺駅前I~IV》2012~2014年

永沢まことが描く街の景観には、「ヒト」が欠かせません。永沢は“ホンの数秒”で、目の前の“生きて動いている”人々を、さらりとペン描きしてみせます。軽快なスケッチ・スタイルによって描かれた、サラリーマンや学生、主婦など、いわゆる“普通”過ぎる人々の姿は、「いるよね、こういう人！（もしかして自分かも）」と、観る側を自嘲的な笑いに誘います。

本展のタイトルでもある“都市画”は、類まれな人間観察力と、おびただしいスケッチの変遷を経てとり着いた“街の今”を捉える、

永沢まこと監修のドキュメンタリーでもあります。自身も特別な親しみを感じるという“吉祥寺”の街は、都市・東京のなかでも格好のターゲット。本展では、180度のパノラマが展開する《吉祥寺駅前I~IV》や《いせや本店》《小ざさ》など吉祥寺になじみの深い作品のほか、1980年代にニューヨークで描いた人物スケッチや、初公開のクロッキー帳なども多数ご覧いただけます。

この機会を通じて、まさに線描きのプロ・永沢まことの新たな魅力に気付いていただければ幸いです。



《いせや本店》2006年

次回展のご案内

生誕200年 伊豆長八展 (仮称)

■会期 = 9月5日(土)~10月18日(日)

休館日 = 9月30日(水)

幕末から明治にかけて活躍した左官職人・鏝絵(こてえ)名手の伊豆長八(1815-1889)。郷里である静岡県松崎町と江戸を行き来しながら活動していた長八の作品50~60点により、その活動を紹介します。「見世物」が政府管理の「博覧会」へと整備されていく中で見落とされてきた視覚文化を再確認・再評価する貴重な機会です。



武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 コピス吉祥寺A館 7階 ☎0422-22-0385

ホームページ http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/

ツイッター http://twitter.com/kichi_museum

フェイスブック <http://www.facebook.com/KichijojiMuseum>

開館時間：午前10時~午後7時30分

入館料：100円

休館日：毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)

(小学生以下・65歳以上・

年末年始、展示替えおよび特別整理期間 障害者は無料)

交通案内：JR、京王井の頭線「吉祥寺駅」下車 北口より徒歩3分